

平成 27 年 3 月 8 日（日）実施

第 34 回 建設業経理事務士検定試験 3 級 解説

〔第 1 問〕

- (1) 割引発行の社債は買入価額で処理する。
- (2) 仮受金の内容が判明したので、未成工事受入金勘定に振り替える。
- (3) 差し引かれた割引料 ¥5,400 は手形売却損勘定で処理する。
- (4) 工事代金はまだ支払っていないので工事未払金で処理する。
- (5) 損益勘定の差額（貸方残）を資本金勘定に振り替える。

〔第 2 問〕

- ① 101 工事の材料費当期発生分は材料費合計から各工事の材料費を引いて

$$¥634,000 - ¥196,000 - (¥58,000 + ¥86,000) - (¥113,000 + ¥83,000) = ¥98,000$$
- ② 101 工事の外注費当期発生分は、当期発生分合計から材料費、労務費、経費を引いて

$$¥308,000 - ¥98,000 - ¥85,000 - ¥56,000 = ¥69,000$$
- ③ 101 工事の労務費前期繰越分は、前期繰越合計から材料費、外注費、経費を引いて

$$¥510,000 - ¥196,000 - ¥97,000 - ¥72,000 = ¥145,000$$
- ④ ②より、外注費の合計額から各工事の外注費を引くと 103 工事の外注費が計算される。

$$¥366,000 - (¥97,000 + ¥69,000) - (¥62,000 + ¥45,000) - ¥36,000 = ¥57,000$$
- ⑤ 103 工事の合計額は

$$¥113,000 + ¥89,000 + ¥57,000 + ¥26,000 = ¥285,000$$
- ⑥ 未成工事支出金の前期繰越 ¥717,000 は 101 工事、102 工事の前期繰越分の合計額であるから、102 工事の前期繰越分は

$$¥717,000 - ¥510,000 \text{ (101 工事前期繰越分)} = ¥207,000$$
- ⑦ ⑥より、102 工事の経費前期繰越分は

$$¥207,000 - ¥58,000 - ¥49,000 - ¥62,000 = ¥38,000$$
- ⑧ 104 工事の経費は経費合計から各工事の経費を引いて

$$¥243,000 - (¥72,000 + ¥56,000) - (¥38,000 + ¥32,000) - ¥26,000 = ¥19,000$$
- ⑨ ⑧より、104 工事の労務費は

$$¥202,000 - ¥83,000 - ¥36,000 - ¥19,000 = ¥64,000$$
- ⑩ 労務費の当期発生合計額は、未成工事支出金勘定より ¥309,000 であるから、各工事の当期発生額より、102 工事の労務費当期発生分は

$$¥309,000 - ¥85,000 - ¥89,000 - ¥64,000 = ¥71,000$$
- 102 工事の当期発生分合計額は

$$¥86,000 + ¥71,000 + ¥45,000 + ¥32,000 = ¥234,000$$
- ⑪ 労務費の合計および原価合計を計算する。

工事原価計算表

摘要	101 工事		102 工事		103 工事	104 工事	合計
	前期繰越	当期発生	前期繰越	当期発生	当期発生	当期発生	
材料費	196,000	98,000	58,000	86,000	113,000	83,000	634,000
労務費	145,000	85,000	49,000	71,000	89,000	64,000	503,000
外注費	97,000	69,000	62,000	45,000	57,000	36,000	366,000
経費	72,000	56,000	38,000	32,000	26,000	19,000	243,000
合計	510,000	308,000	207,000	234,000	285,000	202,000	1,746,000
備考	完成		未完成		完成	未完成	

未成工事支出金

前期繰越	717,000	完成工事高	1,103,000
材料費	380,000	次期繰越	643,000
労務費	309,000		
外注費	207,000		
経費	133,000		
	<u>1,746,000</u>		<u>1,746,000</u>

I. 材料費 (¥196,000 + ¥98,000) + ¥113,000 = ¥407,000

II. 労務費 (¥145,000 + ¥85,000) + ¥89,000 = ¥319,000

III. 外注費 (¥97,000 + ¥69,000) + ¥57,000 = ¥223,000

IV. 経費 (¥72,000 + ¥56,000) + ¥26,000 = ¥154,000

【第3問】

21日	(借) 材料	214,000	(貸) 工事未払金	214,000
22日	(借) 現金	360,000	(貸) 完成工事未収入金	360,000
23日	(借) 当座預金	190,000	(貸) 未成工事受入金	190,000
24日	(借) 現金	100,000	(貸) 当座預金	100,000
25日	(借) 労務費	432,000	(貸) 現金	432,000
"	(借) 給料	298,000	(貸) 現金	298,000
26日	(借) 材料費	123,000	(貸) 材料	123,000
27日	(借) 当座預金	240,000	(貸) 受取手形	240,000
28日	(借) 支払家賃	85,000	(貸) 当座預金	85,000
29日	(借) 工事未払金	372,000	(貸) 支払手形	372,000
30日	(借) 支払手形	170,000	(貸) 当座預金	170,000
"	(借) 経費	42,000	(貸) 現金	42,000
31日	(借) 借入金	350,000	(貸) 当座預金	356,000
	支払利息	6,000		
"	(借) 未成工事受入金	200,000	(貸) 完成工事高	800,000
	完成工事未収入金	600,000		

※21日の「諸口」は5月20日までの諸取引を表します。

現 金		金	
21 諸 口	1,562,000	21 諸 口	406,000
22 完成工事未収入金	360,000	25 労 務 費	432,000
24 当 座 預 金	240,000	〃 給 料	298,000
		30 経 費	42,000
当 座 預 金			
21 諸 口	2,439,000	21 諸 口	1,242,000
23 未成工事受入金	190,000	24 現 金	100,000
27 受 取 手 形	240,000	28 支 払 家 賃	85,000
		30 支 払 手 形	170,000
		31 諸 口	356,000
受 取 手 形			
21 諸 口	1,585,000	21 諸 口	1,037,000
		27 当 座 預 金	240,000
完 成 工 事 未 収 入 金			
21 諸 口	1,016,000	21 諸 口	586,000
31 完成工事高	600,000	22 現 金	360,000
材 料			
21 諸 口	523,000	21 諸 口	278,000
21 工事未払金	214,000	26 材 料 費	123,000
機 械 装 置			
21 諸 口	485,000		
備 品			
21 諸 口	319,000		
支 払 手 形			
21 諸 口	918,000	21 諸 口	1,954,000
30 当 座 預 金	170,000	29 工 事 未 払 金	372,000
工 事 未 払 金			
21 諸 口	287,000	21 諸 口	835,000
29 支 払 手 形	372,000	21 材 料	214,000
借 入 金			
21 諸 口	764,000	21 諸 口	2,247,000
31 当 座 預 金	350,000		
未 成 工 事 受 入 金			
21 諸 口	692,000	21 諸 口	1,143,000
31 完成工事高	200,000	23 当 座 預 金	190,000
資 本 金			
		21 諸 口	2,000,000

完 成 工 事 高			
		21 諸 口	2,528,000
		31 諸 口	800,000
材 料 費			
21 諸 口	1,456,000		
26 材 料	123,000		
労 務 費			
21 諸 口	966,000		
25 現 金	432,000		
外 注 費			
21 諸 口	628,000		
経 費			
21 諸 口	353,000		
30 現 金	42,000		
給 料			
21 諸 口	221,000		
25 現 金	298,000		
支 払 家 賃			
21 諸 口	33,000		
28 当 座 預 金	85,000		
雑 収 入			
		21 諸 口	9,000
支 払 利 息			
21 諸 口	18,000		
31 当 座 預 金	6,000		

〔第4問〕

解答参照

【第5問】

(1) 減価償却

工事用機械装置の減価償却費は工事原価であるので、経費として処理する。
一般管理用備品は減価償却費として処理する。

(借) 経 費	35,000	(貸) 機械装置原価償却累計額	35,000
減 価 償 却 費	29,000	備品減価償却累計額	29,000

(2) 有価証券の評価

帳簿価額は¥276,000なので、評価損は¥276,000－¥264,000＝¥12,000である。

(借) 有価証券評価損	12,000	(貸) 有 価 証 券	12,000
-------------	--------	-------------	--------

(3) 貸倒引当金

受取手形と完成工事未収入金の残高は¥563,000＋¥417,000＝¥980,000

$$¥980,000 \times 2\% = ¥19,600$$

差額補充法で処理するので繰入額は¥19,600－¥11,200＝¥8,400

(借) 貸倒引当金繰入額	8,400	(貸) 貸 倒 引 当 金	8,400
--------------	-------	---------------	-------

(4) 費用の繰延べ

(借) 前払保険料	2,500	(貸) 保 険 料	2,500
-----------	-------	-----------	-------

(5) 収益の見越し

(借) 未 収 利 息	1,300	(貸) 受 取 利 息	1,300
-------------	-------	-------------	-------

(6) 工事原価を未成工事支出金へ振り替える。

※決算整理事項(1)の経費も含めることに注意

(借) 未成工事支出金	1,525,000	(貸) 材 料 費	524,000
		労 務 費	469,000
		外 注 費	335,000
		経 費	197,000

未成工事支出金のうち当期完成成分を完成工事原価に振り替える。

未成工事支出金の次期繰越額は¥189,000なので、完成工事原価は

$$¥436,000 + ¥1,525,000 - ¥189,000 = ¥1,772,000$$

(借) 完成工事原価	1,772,000	(貸) 未成工事支出金	1,772,000
------------	-----------	-------------	-----------

未成工事支出金

前期繰越	436,000	完成工事原価	1,772,000
当期発生	1,525,000		
		次期繰越	189,000